

# 第5回北区まちづくり懇話会 各班発表内容

平成30年8月10日(金)開催



# 第5回北区まちづくり懇話会

日 時 平成30年8月10日（金） 14時30分～16時30分

場 所 北区役所2階第2～4会議室

出席者 懇話会委員13名  
地域担当職員4名、大学生1名、高校生4名

内 容 必要な取組の実現に向けて意見交換  
(ワークショップ形式)

- 1班および2班  
『誰もが楽しく集い、  
『笑顔』が広がる「場」の創出』
- 3班および4班  
『健康の大切さを知り、  
お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』



# ワークショップの様子

## ▼ 1 班の様子



## ▼ 2 班の様子



## ▼ 3 班の様子



## ▼ 4 班の様子



## 方針1 『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

取組のタイトル: 知っとるね!! 地元の企業 (企業見学)

### 1. 場所

北区にある企業

### 2. 誰が

親子や孫・祖父母などペアで

- ・ペアで行くと、世代間で話をするができる(別々に住んでいても、交流が生まれる)
- ・地元の企業を知ることにより、愛着をもってもらい、消費にもつなげる

### 3. 効果・目的

↓  
地元・企業に愛着をもって、大切に思う 気持ちを醸成する

↓  
北区を好きになり住んでもらう

## 方針1 『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

取組のタイトル: つくる!あそぶ! In Kita H. S(北高)

### 1. 場所

熊本県立熊本北高等学校のグラウンド

### 2. 誰が

70~80代の人たちに子どもの頃に作った物やおもちゃなど小学生~高校生と一緒に作り教えてもらう。

### 3. 効果・目的

- ・高齢者と子ども、地域がつながる。
- ・高齢者はノスタルジー懐かしい思いをしてもらう。
- ・子どもたちにとっては物を作る新鮮な場所。

## 方針1 『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

取組のタイトル： ひまわりカフェ

### 1. 場所

コミュニティセンター、地域公民館  
子どもも高齢者も普段から利用している **飲食店の空き時間**

### 2. 誰が

子どもから高齢者まで

### 3. 効果・目的

- ・顔見知りが増えることで地域であいさつをするようになる
- ・世代間の交流ができる

## 方針1 『誰もが楽しく集い、『笑顔』が広がる「場」の創出』

取組のタイトル： 全員初心者スポーツ大会

### 1. 場所

- ・スポーツ公園
- ・学校(体育館、グラウンド)

### 2. 誰が

子どもから高齢者まで

### 3. 効果・目的

- ・地域のつながり
- ・世代間交流
- ・健康増進

方針2 『健康の大切さを知り、お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

取組のタイトル： 寺子屋を広めよう！！

## 1. 場所

・公民館、学校

## 2. 誰が

子どもからお年寄り

## 3. 効果・目的

健康



## 方針2 『健康の大切さを知り、お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

取組のタイトル： 農業に接しよう！収穫祭をしよう！

1. 場所 畑、田んぼ(北区)

2. 誰が 子どもからお年寄り

3. 効果・目的

- ・北区は農業がさかんで、農産物の豊富な地域である。
- ・農業に携わるお年寄りが子どもたちに農業の大変さや楽しさを伝えることで、子どもは勉強になり、お年寄りにとっては心も体も元気にある。
- ・みんなの健康、健康、健康！

## 方針2 『健康の大切さを知り、お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

取組のタイトル: かもんべいびー寺小屋

### 1. 場所

地域公民館

### 2. 誰が

民生委員(紹介)、地域の高校生(先生・生徒)、  
地域の高齢者(先生・生徒)、地域の小中学生

### 3. 効果・目的

子ども達の学力向上、明るい地域づくり、SNSの活用、  
大人の知識力向上、多世代のコミュニケーション力の向上、  
知らない人がいなくなる、挨拶の出来る関係づくり

## 方針2 『健康の大切さを知り、お互いを思いやり支え合う気持ちの醸成』

取組のタイトル： 未来を築くあなたの居場所

### 1. 場所

地域公民館

### 2. 誰が

子ども会、老人会  
隣近所を誘って来る

### 3. 効果・目的

継続することによる居場所づくり、話し相手づくり  
虫歯の話(仲間作り)、認知症の話(協力)、  
カルタ会、昔話の語り部(地域)

## ■ 会長講評

まずは、今回は高校生も参加し、有意義な意見交換会になった。高校生や大学生にとっては、北区にこういう方がおられるのか、こういう意見を持っている人がいるのかということを知ることができたと思う。人を知ることがまちづくりの基本である。

そして、「まちづくり」はぼんやりとしていて難しいが、今回の一つ一つのテーブルがまちだと考えて欲しい。住んでいる地域・年齢・性別が違う人が集まって、北区をもっといいまちにするにはどうしたらいいのかということ話を話した。

さらに今回の話し合いでもわかったように、北区はとても特徴のある区である。

まず1つめに、いろんな要素が揃っているということ。工業、農業、歴史、遺跡、そして温泉。教育機関についても、小学校から大学まですべて揃っており、恵まれている環境にある。そういった環境で、それぞれの分野に携わる人がどのように結びつき、協力していくかがまちづくりの鍵となる。

2つめには、地域ごとに大きな違いがある。植木や龍田、清水、北部でそれぞれで住宅街が広がっているのか、農地が広がっているのか、人口構成などが違う。地域ごとの違いがある中で、北区全体としてどう発展させていくのかを、それぞれの地域に住んでいる人みんな考えていく必要がある。そのためには地域ごとの結びつきが必要である。

また、まちづくりにはこうやれば絶対上手くいくという正解のようなものはない。自分たちでアイデアを出して考えていかなければならない。

これらの点で、今日は班それぞれに充実した話し合いができ、良い提案ができたと思う。今後は、提言書を作成し、実現に向けてみんなで取り組んでいきたい。